

＜ ボトロップ市と延岡市との友好交流について ＞

1 これまでの経緯

(1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京 2020 大会」という。）のホストタウンとなる

本市は、平成 28 年 1 月宮崎県、宮崎市及び小林市と共同で、ドイツ国を相手国とするホストタウンに登録（第 1 次登録）されました。以後本市では、柔道合宿受け入れや交流イベント、ホストタウン連携企画等を行いました。

(2) ホストタウンの成果を子どもたちの育成や地域活性化につなげる

本市は、ホストタウンの取組みを契機に深まったドイツ国との関係を更に発展させるべく、以下のような取組みを行ってきました。

① 旭化成ヨーロッパ（ドイツ・デュッセルドルフ市に所在）とのオンライン協議

欧州にある旭化成ヨーロッパとのオンライン協議を令和 2 年 6 月に行い、旭化成ヨーロッパが毎年主催しているデュッセルドルフでの柔道教室の様子を伺いました。また、今後ドイツ国の自治体と交流を継続していく意向を伝え、協力を依頼したところ了承をいただきました。

※旭化成ヨーロッパでは平成 29 年にデュッセルドルフ市内で子供たち向けの柔道教室を初めて開催して以来、これまで 6 回の「Judo Workshop」を開催しています。

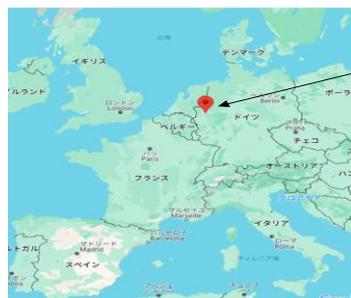
※ドイツの柔道人口は約 15 万人と言われており、日本の柔道人口約 12 万 2 千人よりも多い状況です。（令和 3 年推計）

② ボトロップ市との交流

在大阪・神戸ドイツ総領事館より、本市の交流相手都市としてノルトライン＝ヴェストファーレン州より 3 つの自治体を紹介していただき、そのうちの 1 つであるボトロップ市が在デュッセルドルフ日本総領事館岩間 公典総領事（当時）と親交があったため、岩間総領事が直接ボトロップ市長と面会し、本市との交流に前向きな返答をいただけたことから、その後の交流につながっていきました。

【ボトロップ市の概要】

ドイツ国ノルトライン＝ヴェストファーレン州（NRW 州）にあり、面積は 100.6 平方キロメートル、人口は 117,311 人（2021 年 12 月現在）の都市。延岡市と人口規模が近く、またドイツのイノベーションシティのモデル都市であり、2010 年から 2020 年までで二酸化炭素排出量を 50 パーセント削減し、脱炭素やエネルギーの効率化等の 241 の先進的な取組みを行っている。



ボトロップ市街



ボトロップ市役所

2これまでの本市とポトロップ市との市民交流・市民参加イベント

(1) ポトロップ市とのオンラインでの交流

- ① オンラインによるポトロップ市と延岡市による今後の協議
 - ・開催日：令和4年2月9日
 - ・参加者：ポトロップ市ティシュラー市長、延岡市長、延岡市教育長、在デュッセルドルフ日本国総領事館 三谷主席領事のオンライン協議
 - ・交流内容：今後の交流に向けた取り組みについて協議。スポーツ交流や子どもたちの交流などの教育交流、環境分野での協力について協議を行いました。
- ② 学校交流に向けたポトロップ市と延岡市の担当者がオンライン会議
 - ・開催日：令和4年3月10日
 - ・参加者：ポトロップ市職員（都市間交流担当）、延岡市職員（国際交流推進室職員、学校教育課職員、アスリートタウン推進室職員）
 - ・交流内容：ポトロップ市と延岡市の中学校でオンラインによる交流について意見を交換し、具体的にポトロップ市キルヒヘレン学校と延岡市旭中学校とのオンライン交流が開催されることが決定しました。

(2) 本市旭中学校と土々呂中学校、ポトロップ市キルヒヘレン校との交流

- ① 両校生徒によるオンライン交流事業（旭中）
 - ・開催日：令和4年6月20日
 - ・交流内容：事前に作成したお互いの自治体や学校についての紹介動画をそれぞれ発表しました。また互いにクラブ活動や制服の有無について質問していました。日本の中学校は制服があり、全員が同じ服装をしていることにポトロップ市キルヒヘレン学校の生徒は驚いていました。
 - ・参加者：旭中学校3年生、ポトロップ市キルヒヘレン学校8年生（日本の中学2年生）
- ② 両校生徒による手紙の交換（土々呂中）

令和6年1月に副市長はじめ、本市職員がポトロップ市を視察した際に、国際交流に興味のある生徒からポトロップ市のキルヒヘレン学校への手紙を預かり、直接お渡ししました。また手紙と一緒に延岡市を紹介するうちわを贈呈しました。その後、令和6年4月にポトロップ市キルヒヘレン学校から手紙の返事が届き、土々呂中の生徒は大変喜んでいました。



☆オンライン交流の様子



☆キルヒヘレン学校からの手紙を読む様子

※この手紙の交換を通し、令和6年7月にポトロップ市のキルヒヘレン学校と、以前交流に興味を示していたヤヌシュ・コルジャック総合学校より、日本サークルを立ち上げたいという連絡が本市にあるところとあります。

(3) ドイツ国・ポトロップ市を通じたウクライナへの支援（子ども用遊具、寄付金）

ポトロップ市長より、ポトロップ市に避難しているウクライナの子どものための遊具の提供依頼を延岡市長が直接受け、「アスリートタウンのべおか国際合宿等推進協議会」やボランティア関係者の方々のご協力により、令和4年6月に「ドイツ・ポトロップ市を通じたウクライナ支援を行う延岡市実行委員会」が設立され、市民の皆様からご寄付いただいた子ども用遊具、寄附金をポトロップ市に送り、大変喜ばれました。

（子ども用遊具の送付）

- ・送付日：令和4年8月16日
- ・支援物品：ボール類、キックボード、チョーク、一輪車、ヘルメット等、約800点
- ・個人、団体合わせて48の寄付がありました。

（寄付金の贈呈）

- ・贈呈式期日：令和5年4月21日
- ・寄付金額：1,757,448円

「ドイツ・ポトロップ市を通じたウクライナ支援を行う延岡市実行委員会」のメンバー

- ・会長：赤須 晃治（延岡共立病院院長）
- ・副会長：河野 裕一（延岡市スポーツ協会）
- ・会員：波岡 政樹（延岡商工会議所）
- ・会員：森山 慎作（NPO法人アスリートタウンのべおか）
- ・会員：山口 博司（延岡アスリートタウンサポーターズ）
- ・会員：読谷山 洋司（延岡市長）

※所属については実行委員会立ち上げの令和4年6月時点です。



☆ウクライナ避難民の寄付金贈呈式の様子



☆ウクライナ支援物資出発の様子



☆ウクライナ支援物資出発式の様子



☆支援物資の遊具で遊ぶポトロップ市の児童の様子

(4) グリーンクリスマスの実施

国際交流イベントとして、ドイツの文化や食べ物などを市民の皆様にご紹介するために、グリーンクリスマス推進室とエンクロスとの共催で実施しました。

- ・開催日：令和5年12月23日 ※ドイツ交流講演会と同日開催。
- ・会場：延岡市駅前複合施設エンクロス
- ・参加者：約1,500人
- ・内容：焼き菓子・加工食品等販売、雑貨販売、ワークショップ、国際料理教室、ドイツクリスマス部屋の展示

(5) 市民向けドイツ交流講演会の開催

市民の皆様に向け、国際交流員によるドイツ国に対する理解の促進とボトロップ市のティシュラー市長からのメッセージ動画による講演会を実施しました。

- ・開催日：令和5年12月23日 ※グリーンクリスマスと同日開催。
- ・会場：waiwai PLAY LAB
- ・参加者：約60人



☆グリーンクリスマス焼き菓子作りの様子



☆ドイツ交流講演会の様子

3 ボトロップ市と延岡市とのパートナーシティ協定に向けた連携・協力提案及び現地視察

令和6年1月に本市は、ティシュラー市長からの熱心なお誘いを受け、延岡市副市長を始めとする4名の訪問団が延岡市長の親書を携え、ボトロップ市を訪問しました。

親書の内容は以下のとおりです。

- ・両市の児童生徒が国際感覚を身につけるための連携・協力
- ・両市の脱炭素社会の実現やSDGs推進のための連携・協力
- ・両市の柔道を中心としたスポーツ交流

また、今後の交流についての連携・協力を強化するために、パートナーシティ協定締結の提案と同市の実情を把握するための現地視察も行いました。またデュッセルドルフにある総領事館や旭化成ヨーロッパを訪問し、今後の両市の交流促進についてご理解とご協力をいただきました。

- ・訪問期日：令和6年1月15日から20日
- ・訪問先：ボトロップ市役所、ICM（イノベーションシティマネジメント会社）
キルヒヘレン学校、ルール・ウェスト大学、JC66（柔道クラブ）、他 市内視察
在デュッセルドルフ日本国総領事館、旭化成ヨーロッパ

4パートナーシティ協定の締結式の開催と今後の交流について

これまでの交流により両市の関係がより親密になったことにより、本年10月にボトロップ市のティシュラー市長にご来延いただけることとなりました。その際には、本市が提案した今後の交流促進のためのパートナーシティ協定の締結（下記参照）を行うとともに、本市の観光や食、産業など様々な魅力に触れていただきたいと考えています。

また、同時期にボトロップ市の柔道クラブJC66の選手団13名（トレーナー2名含む）も来延し、旭化成柔道部との合同練習を行うとともに、市民の皆様と交流する予定となっております。

=====
ドイツ連邦共和国ノルトライン＝ヴェストファーレン州ボトロップ市と日本国宮崎県延岡市とのパートナーシティ協定書(案)

ボトロップ市と延岡市とは、延岡市が東京2020オリンピック・パラリンピックのドイツ連邦共和国の柔道競技のホストタウンであったことを契機に始めた交流をさらに深化させるため、以下の連携・協力を実施するために、パートナーシティ協定を締結することを提案します。

一、両市の児童生徒が国際感覚を身につけるための連携・協力

- ・ボトロップ市の学校と延岡市の学校によるオンラインでの学校交流
- ・メールや手紙、絵画等の交換
- ・相互訪問による現地学校での体験授業、ホームステイ

二、両市の脱炭素社会の実現やSDGs推進のための連携・協力

- ・両市が実施している市民生活の脱炭素化やSDGs推進のための具体的な取組内容の情報交換
 - ・産業の脱炭素化のための具体的な取組内容の情報交換
- ・脱炭素社会実現のための両市の連携・協力のあり方についての協議
 - ・脱炭素社会実現のための両市内の企業や市民間の連携・協力のあり方についての協議

三、両市の柔道を中心としたスポーツ交流

- ・両市又は両市周辺でのスポーツ交流(JUDO WORKSHOP への参加や各スポーツ大会等への参加)を行うことで両市のスポーツの振興・促進を図り、相互の技術や精神面での向上を目指す。
- ・両市がスポーツ交流を通して、市民との関係を深めるとともに相互の文化について理解の深化を図る。
- ・オンライン会議による柔道・スポーツ交流に関する定期的な協議の実施

=====
※パートナーシティ協定とは、自治体が特定の分野に限った交流を行うために結ぶ協定です。延岡市とボトロップ市は、パートナーシティ協定を上記の内容で締結する予定です。今後これらの交流が深化することで、包括的な交流を行う姉妹都市交流協定の締結を目指します。

令和6年10月に延岡市とポトロップ市はパートナーシティ協定を締結したいと考えています。このパートナーシティ協定を結び、今後の交流を発展させていくことによって本市の未来ある子供たちが国際感覚を身に着け、国際社会で活躍する力をはぐくむことが出来ます。

またスポーツ交流を通し、切磋琢磨し技術や精神の向上を図ることで出来ます。加えて、本市は県内で唯一政府から「SDGs 未来都市」「脱炭素先行地域」に選ばれているとともに、「ゼロカーボンシティ宣言」を掲げ、2030年度までに平成23年度の二酸化炭素排出量の50%減を目指しております。

一方、ポトロップ市では自治体だけではなく、企業が率先して脱炭素やエネルギーの効率化に取り組んでおり、既に2010年から2020年までで二酸化炭素排出量を50%削減した実績を上げています。

今後の交流を通し、両市が情報交換や情報を共有することで未来を担う子どもたちの育成を進めるとともに、脱炭素やSDGs推進につなげ、自治体のみならず企業も達成すべき目標であるため、ポトロップ市との交流は市内企業にとっても大変有意義なものになると考えています。